

平成 19 年 8 月

先生各位

## 検査内容変更のご案内

謹啓 時下益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。また、平素はひとかたならぬお引き立てを賜わり厚くお礼申し上げます。

さて、下記の項目におきまして、検査内容を変更させていただきますのでご案内申し上げます。  
今後とも変わらぬご愛顧のほど、よろしくお願い申し上げます。

謹白

記

《変更日》 平成 19 年 9 月 25 日(火)受付分より

《変更内容》

総合検査案内	検査コード	検査項目名称	変更内容	変更後	変更前
P.66	1399	梅毒定性 TP 抗体	検査項目名称	梅毒定性 TP 抗体	梅毒定性 TPHA 法
			所要日数	1~2 日	2~3 日
			検査方法	CLIA 法	PHA 法
			基準値	S/CO 1.00 未満 (-)	(-)

その他の検査内容に変更はございません。  
定量検査は今までどおり PHA 法で実施いたします。

《変更理由》 所要日数の短縮を目的とする用手法から自動化法への変更

《注 釈》

- ・ CLIA 法は FTA-ABS 法と高い一致率を示すことから PHA 法と比べて感度・特異性に優れています。
- ・ CLIA 法は IgM 抗体を捕らえるため、梅毒感染の有無を判断するスクリーニング検査に有用です。
- ・ 定量検査は従来通りの PHA 法ですが、CLIA 法は PHA 法に比較して高感度であるため、検査結果の乖離する場合があります。
- ・ 倍数報告である定量検査の抗体価に対して、CLIA 法の値が広範囲に渡って分布しているため、CLIA 法の結果から TPHA 法の抗体価を推定することはできません。